

『画集・大森朔衛美術館』のご案内

このたび求龍堂より、洋画家大森朔衛の初の作品集、を刊行いたしました。美術館収蔵作品と個人コレクションで、その画業をご紹介します。

1919年生まれ。瀬戸内に育ち、画家を志して上京。やがて時代は戦争へ。スマトラ島で、終戦を知った夜に、自決。偶然友人に発見されて一命をとりとめる。翌年帰国し、広島に驚き、高松の実家は灰に帰っていた。兄から母の病死と、いままで描いた全作品の焼失を知り、ようやく手に入れた紙に《復員の自画像》を描く……。第二次世界大戦が、その画業に大きく影響したことから、戦後70年の夏に刊行しました。

『画集・大森朔衛美術館』

- 第一室 小豆島・高松・東京・そして戦争
- 第二室 東京・新宿 自由美術 モダンアート
- 第三室 東京・府中 モダンアート 行動美術
- 第四室 パリ・サンルイ島
- 第五室 東京・府中



香川県総合美術展 県知事賞受賞 / 大日本海洋美術展 海軍協会賞受賞『木船建造』(1942)P13
第一回モダンアート展 会員努力賞受賞 『S・W 町』『トバク者』(1950)P26
現代日本美術展 神奈川県立近代美術館賞 神奈川県立近代美術館所蔵 『陸』(1960)P42・43
現代日本美術展招待作品、行動美術協会出品全作品、府中市美術館所蔵 絶筆『段崖』、香川県立ミュージアム、高松市美術館、大川美術館、今治市玉川近代美術館、ルミエール府中、府中の森芸術劇場、武蔵野美術大学、小豆島町役場、小豆島夢想館、等収蔵他、個人蔵作品など多数掲載

本書を「大森朔衛美術館」と称し、全五室で構成。唯一現存する戦前の油彩画。戦後の復員の自画像から絶筆まで、その画業を年代順にたどりながら、画家たちとの交流、評論家の批評、新聞や雑誌等の記事、本人が語った言葉、アトリエ紹介、パリ滞在中の様子やスケッチ、武蔵野美術大学教授時代のエピソード、遺族が加筆した本人自筆の年譜なども併せてご紹介いたします。本書を開いているときは、まるで『大森朔衛美術館』を訪れているような気持ちになっていただけたら幸いです。

寄稿 『大森朔衛先生』遠藤彰子(画家)・『大森朔衛の世界』土方明司(平塚市美術館館長代理)
年譜、文献目録収録 / 編纂・アートディレクション 大森利佳 / 日英併記

◆書誌情報

刊行／2015年7月27日

仕様／B5変型、並製本カバー掛け、総頁168頁(掲載作品点数100点)

定価／本体3,500円＋税

ISBN978-4-7630-1519-8 C0071

◆お問い合わせ

株式会社求龍堂 小俣嘉之(広報)、深谷路子(編集)

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋新館1階

TEL:03-3239-3382(編集部) FAX:03-3239-3376 <http://www.kyuryoudo.co.jp>